

第2回神奈川ワークショップ(市民向け報告書)報告

1. 開催状況

日時： 平成12年12月18日(月)午前10時 午後4時
場所： 藤沢商工会議所
参加者： 市民10名、環境NGO4名、企業4名、行政6名
全体コーディネーター 川島憲志
ファシリテーター 5名
コメンテーター 大歳幸男(旭硝子(株))、神山敏((財)日本システム開発研究所)、新田晃(環境庁)
事務局 4名

内容： 分野ごとに5つの作業グループ(市民A・B、環境NGO、企業、行政)を構成し、ワークショップを実施。セッション1でPRTRとその結果について資料を使って説明した後、理解したことを他の人達にも理解してもらうために、セッション2で「壁新聞」を作成してもらい、セッション3でその結果を発表してもらった。

10:00 オリエンテーション
10:15 ウォーミングアップ
10:30 セッション1 おはなしと質疑「PRTRちゃんと知っ得！」
(説明資料を配付)
12:00 昼食
12:45 セッション2 グループワーク「PRTRの結果を読み解く！」
(要素カードを各班に配布)
14:15 セッション3 全体会「PRTRの結果をみんなに説く！」
15:30 ふりかえりとわかちあい
15:50 表彰
16:00 閉会

【参考】セッション1での質問

- ・ PRTR法における公表の目的。
- ・ 公表の単位は県別か市町村別か。
- ・ 対象物質について、洗剤は非点源で集計されるのか。推計は国が行うのか。
- ・ 対象事業者について、身近な小規模事業者が推計に入るなら多くが推計になる。
- ・ データの信頼性はあるのか。
- ・ 推計の方法は。
- ・ 本ワークショップの趣旨について、誰が誰に向けたものを作成するのか。PRTR法を理解し尽くしていないのに作れるか。
- ・ 12月8日神奈川県主催PRTRセミナーについて、どんな議論が行われたか。

配布カード一覧

1. PRTR 法について

PRTR 法とは

対象となる化学物質

物質の決め方

対象化学物質一覧

対象となる事業者

対象業種

雇用者数

取扱量

データの届出、集計、公表

PRTR でわかること

届出の内容

対象事業所以外からの排出量の推計方法

2. 地域の概要

事業所分布（事業所統計）

人口分布（国勢調査）

事業所の報告状況

従業員規模別・業種別対象事業所数

ベンゼンモニタリング結果

3. 物質別排出・移動量

排出・移動先別排出・移動量

業種別排出・移動量

従業員規模別排出・移動量

発生源別排出量

対象事業所と対象事業所以外との排出量合計

および構成比

4. 排出・移動量順位

排出・移動先別排出・移動量順位

業種別排出・移動量順位

発生源別排出量順位

5. 全国比較

従業員 1 人あたり排出・移動量の比較

出荷額に対する排出・移動量の比較

農地面積に対する農薬排出量の比較

人口 1 人あたり家庭・オフィスからの排出量の比較

6. その他

情報源情報

行政機関（国、地方自治体）

諸外国の状況

化学物質の毒性、環境影響など

代表的な化学物質の解説

ベンゼン

ダイオキシン類

用語解説

MSDS

有害性

2. グループワークの結果

市民 A(10 票) 身近な化学物質から

ねらい: ふらっと立ち寄った人が見て PRTR が分かるように→PRTRで私達の暮らしは守られる？

PRTRについて

- ・ PRTRとは
- ・ 情報の流れ

家庭の中の化学物質について

- ・ 建材、殺虫剤、洗剤に使われる化学物質、ゴミに含まれる化学物質
- ・ 人口当たりの排出量地域比較

工場の化学物質について

- ・ 従業員当たり、出荷額当たりの排出量地域比較
- ・ 化学物質の物性、毒性などの解説

PRTR では限界が多いことを示す。
数字を見て次に何をしなければならないかを問う。

市民 B(5 票) 大気への排出量が最も多い物質:トルエンから

ねらい: 多くの項目から何に絞るか → 毎日吸う大気・排出量の物質に着目

トルエンについて

- ・ 主要な発生源
- ・ 主な用途
- ・ 点源非点源別排出量、排出量ランキングの位置づけ
- ・ 人体影響: 有害性の度合いの解説、モニタリング結果
- ・ 情報源情報

PRTRについて

- ・ PRTR 法とは
- ・ 対象となる化学物質
- ・ 点源、非点源の説明

NGO(9 票) 物質のトピック

ねらい: PRTR と生活との接点はどこか→市民が気になる有害物質 10 の情報を示す

有害化学物質毎に情報提供

- ・ 市町村単位の媒体別で当該物質の排出量ランク(位置づけ)
- ・ 物質別の毒性、発生源(点源・非点源の割合)などの解説
対象物質はアンケートなどで決める。

企業(7票) 毒性ランク

ねらい:リスクに着目、企業が努力して排出量が減っていることが分かるといい。

PRTR法について

- ・ PRTR 法とは

リスクについて

- ・ 化学物質のリスク評価とは
- ・ PRTR対象物質の毒性ランク←毒性ランクの決め方

排出量について

- ・ 毒性ランク別排出量とランク別係数
- ・ 毒性ランク別点源非点源排出量

年次比較

- ・ 毒性別排出量マップ
- ・ 毒性別モニタリング結果

もっと知りたいときは

- ・ 情報源情報

皆が監視して管理する。

行政(4票) リスクを減らす為の努力

ねらい:現状を把握することが第1歩→化学物質に興味のない人が見て分かるように

湘南地域の排出実態

- ・ 排出量上位5物質の排出量と点源・非点源の割合

リスク評価について

- ・ 排出量の解釈の仕方(物性、毒性、発生源など)、ハザード情報が必要であることを示す
- ・ 取り上げた化学物質の解説

リスクを減らす方法

- ・ 規制、行政の指導(指針)、リスク情報の開示

情報が得られるしくみ

- ・ PRTR とは
- ・ 情報の流れ
- ・ 対象事業者の決め方
- ・ 非点源の推計方法

詳しいことは

- ・ 情報源情報

ワークショップから見る項目

			市民A	市民B	NGO	企業	行政
PRTR 制度	PRTR とは	4	○	○		○	○
	情報の流れ	2	○				○
	対象物質	1		○			
	対象事業者	1					○
	非点源推計方法	1					○
排出量	地域別	2	○		○		
	媒体別	1			○		
	点源・非点源別	4		○	○	○	○
	ランク別	4		○	○	○	○
	○○当たり	1	○				
	年次別	1				○	
	マップ	1				○	
	解釈の方法	3		○		○	○
化学物質	主な用途・発生源	1		○			
	身近な化学物質	1	○				
	物質の解説	3	○		○		○
	毒性ランク	1				○	
モニタリング	マップ	2		○		○	
リスク	意味	1					○
	評価方法	2				○	○
その他	情報源情報	3		○		○	○